

7. 国際貿易投資研究会

イ. 調査の目的

TPP(環太平洋経済連携協定)や日中韓 FTA、あるいは RCEP(東アジア地域包括的経済連携協定)などの FTA 交渉が活発化している。また、TTIP(環大西洋貿易投資連携協定)や日 EUEPA などの日米欧間のメガ FTA も動いている。こうした日本を取り巻く国際貿易・投資の最新動向に関して調査研究を行うため、「国際貿易投資研究会」を開催している。

ロ. 調査結果の概要

国際貿易投資研究会のメンバーは約 50 名。研究会は年 8~9 回実施している。2013 年度の研究会の実施内容は以下の通り。

- ・ 第 1 回 2013 年 4 月 1 日 (月) 杏林大学総合政策学部 久野新様
「我が国における貿易調整支援 (TAA) プログラム導入に向けた展望と課題」
- ・ 第 2 回 2013 年 5 月 20 日 (月) 明治大学国際総合研究所特任准教授 松本加代様
「東アジアにおける投資ルールの課題」
- ・ 第 3 回 2013 年 7 月 8 (月) 慶応大学 准教授 安藤光代様
「東アジアにおける生産ネットワーク：その頑強性と国内オペレーション」
- ・ 第 4 回 2013 年 7 月 31 日(水) ジェトロ・バンコクセンター次長 助川成也様
「タイでの FTA の利用・輸出状況」
- ・ 第 5 回 2013 年 9 月 2 日(月) ジェトロ国際経済研究課長 梶田朗様
「世界の貿易ルール形成の動向～2013 年度ジェトロ世界貿易投資報告から」
- ・ 第 6 回 2013 年 10 月 28 日(月) 大東文化大学経済学部教授 高安雄一様
「TPP と米韓 FTA の検証～韓国の TPP 参加の可能性～」
- ・ 第 7 回 2013 年 12 月 9 日(月) 慶応義塾大学総合政策学部教授 渡邊頼純様
「WTO 体制－今後の課題と展望－」
- ・ 第 8 回 2014 年 1 月 27 日(月) 日本大学生物資源科学部教授 朽木昭文様
「ASEAN 経済共同体と中所得国の罫」
- ・ 第 9 回 2014 年 3 月 3 日(月) 日本郵船自動車・物流調査チーム長 古川雅啓様
「TTIP による環大西洋経済圏」

研究会の成果を基に刊行していたり、刊行を予定している出版物は以下の通り。

- ・山澤逸平、馬田啓一、国際貿易投資研究会編著「アジア太平洋の新通商秩序—TPPと東アジアの経済連携」、勁草書房、2013年10月
- ・石川幸一、馬田啓一、木村福成、渡邊頼純編著(2013)、『TPPと日本の決断』、文真堂
- ・石川幸一・馬田啓一・渡邊頼純編著 「TPP交渉の論点と日本—国益を巡る攻防」
2014年7月 文真堂より刊行予定
- ・「FTA戦略の潮流：課題と展望」 2015年2月に勁草書房より刊行予定